

第97回日本産業衛生学会

# 健康経営の取組課題としての メンタルヘルス対策に関する 事業所実態調査

2024年5月24日



協会けんぽ広島支部  
マスクットキャラクター  
健康 いそは

(前) 全国健康保険協会広島支部

(現) 全国健康保険協会本部

尾田 慎一



協会けんぽ広島支部  
マスクットキャラクター  
健康 かえで



全国健康保険協会 広島支部  
協会けんぽ

## ■ 健康経営®の推進

協会けんぽ広島支部では、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康投資を行うことで、従業員の活力や生産性の向上をもたらす「健康経営」を実践する事業所の拡大に取り組んでいます。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。



### メンタルヘルス対策の重要性

- ・ 自分の仕事や職業生活に関して、「強い不安、悩み、ストレスがある」と感じている労働者は約8割。（出典：厚生労働省「令和4年 労働安全衛生調査」）
- ・ 業務による心理的負荷を原因とした精神障害の発症に対する労災補償状況は請求件数、認定件数とも増加傾向。（出典：厚生労働省「令和4年度 過労死等の労災補償状況」）

## ■ 協会けんぽ広島支部の課題

課題  
1 「睡眠で休養が取れていない方の割合（問診票）」が  
全国平均を大きく上回る（広島県西部が高い傾向）。

課題  
2 「精神及び行動の障害」が全国平均を上回る。

- ・ 健診（問診票※）、レセプト、傷病手当金支給決定データ、事業所アンケートを活用し、広島支部におけるメンタルヘルスの状況を多角的に把握する。

※特定健診の「標準的な質問票」

- ・ 健康経営の普及やメンタルヘルス対策が必要なターゲット層を探る。

# 分析方法（2022年度実施）

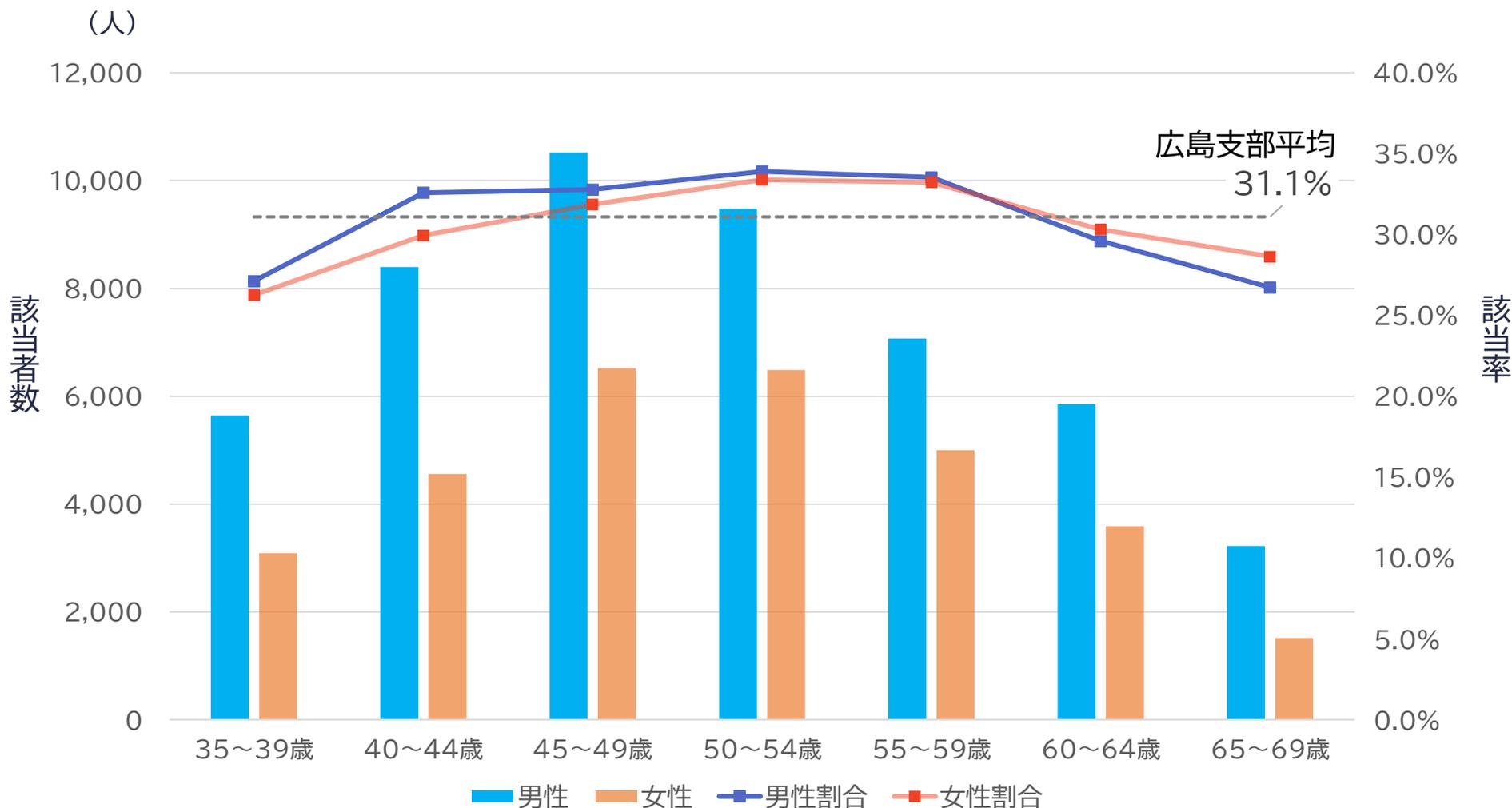
- 健診（問診票）、レセプト、傷病手当金支給決定データを用いて、メンタル系疾患を3段階に階層化し、各ステージの該当者や資格喪失者等を被保険者の人数ベースで性・年齢別、現存・喪失者別に集計。生活習慣、健康経営有無、下記アンケート回答との関連を $\chi^2$ 検定やロジスティック回帰分析で検討した。
- 健康経営の取組状況やメンタルヘルス対策に関して、Webアンケート（実施期間：2023年2月1日～15日）を実施した。（回答数739事業所）

## ■ 3段階の階層化

階層	名称	データ	データの条件（定義）
ステージⅠ	メンタル不調予備群 [問診票]	健診問診票 データ	生活習慣病予防健診（ <b>対象者：被保険者35歳以上</b> ）を受診し、問診票で「 <u>睡眠で休養が取れていない</u> 」と回答された方、かつ、以下のいずれか※の回答をされた方の <b>人数</b> ※「歩行または身体活動習慣なし」「歩行速度が遅い」「体重変化あり」「食べ方（就寝前あり）」「食習慣（朝食抜きあり）」 <u>（ステージⅡ及びステージⅢに該当する方は除く）</u>
睡眠＋生活習慣に課題			
ステージⅡ	メンタル系疾患 [医療機関受診]	レセプト データ	レセプトデータのICD-10コード「F00～F99」（ <u>精神および行動の障害</u> ）に該当する方の <b>人数</b> <u>（ただし、ステージⅢに該当する方を除く）</u>
メンタル系疾患の発症			
ステージⅢ	メンタル系疾患 [傷病手当金受給者]	傷病手当金 支給決定データ	メンタル系疾患の傷病で、傷病手当金を受給されている方の <b>人数</b>

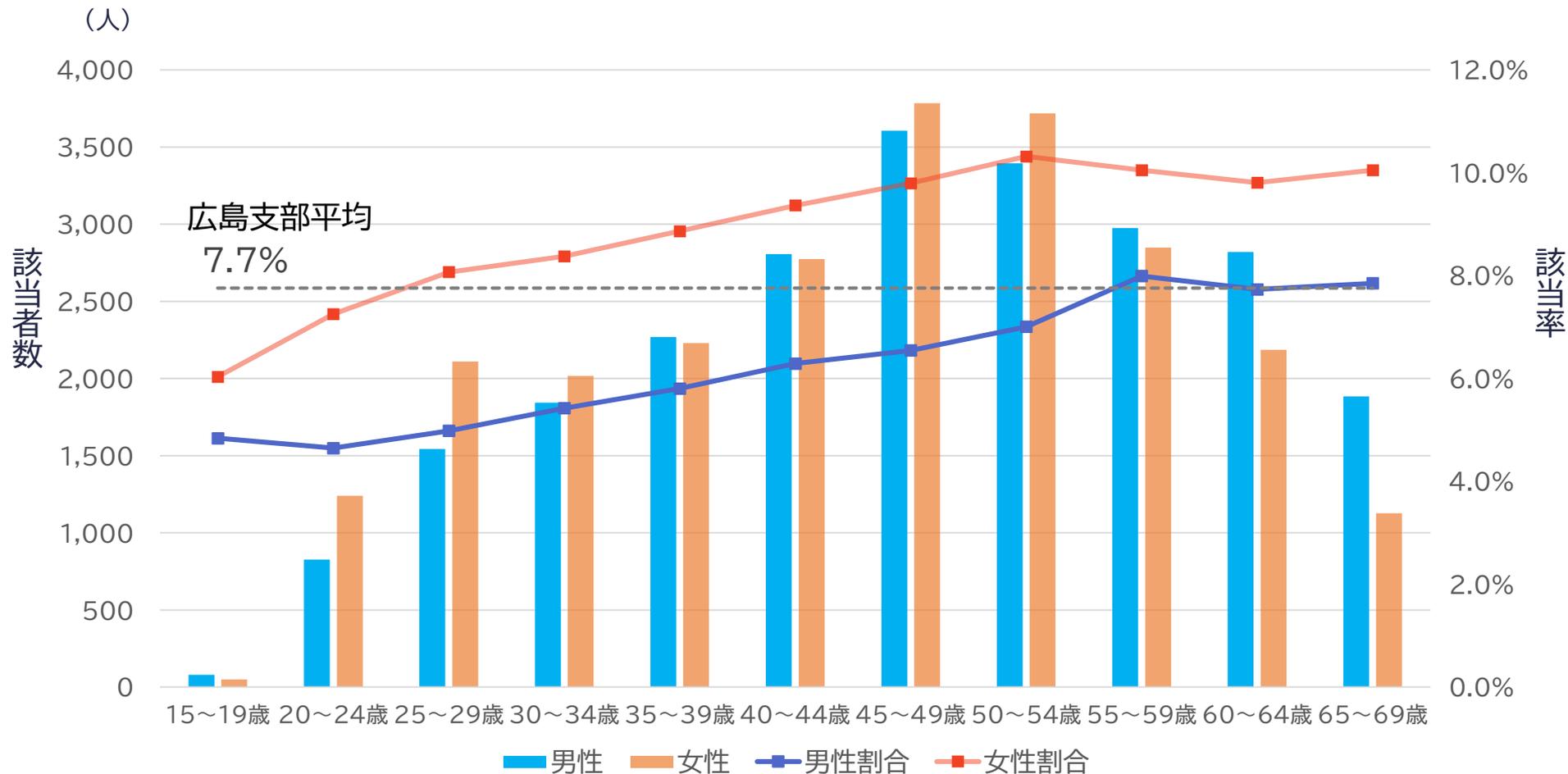
# ステージⅠ：メンタル不調予備群の状況（性別・年齢階層別）

- 生活習慣病予防健診受診者（266,949人）のうち、約3人に1人（83,007人）が該当。
- 割合で見ると、男性は40～59歳、女性は45～59歳が平均より高い。

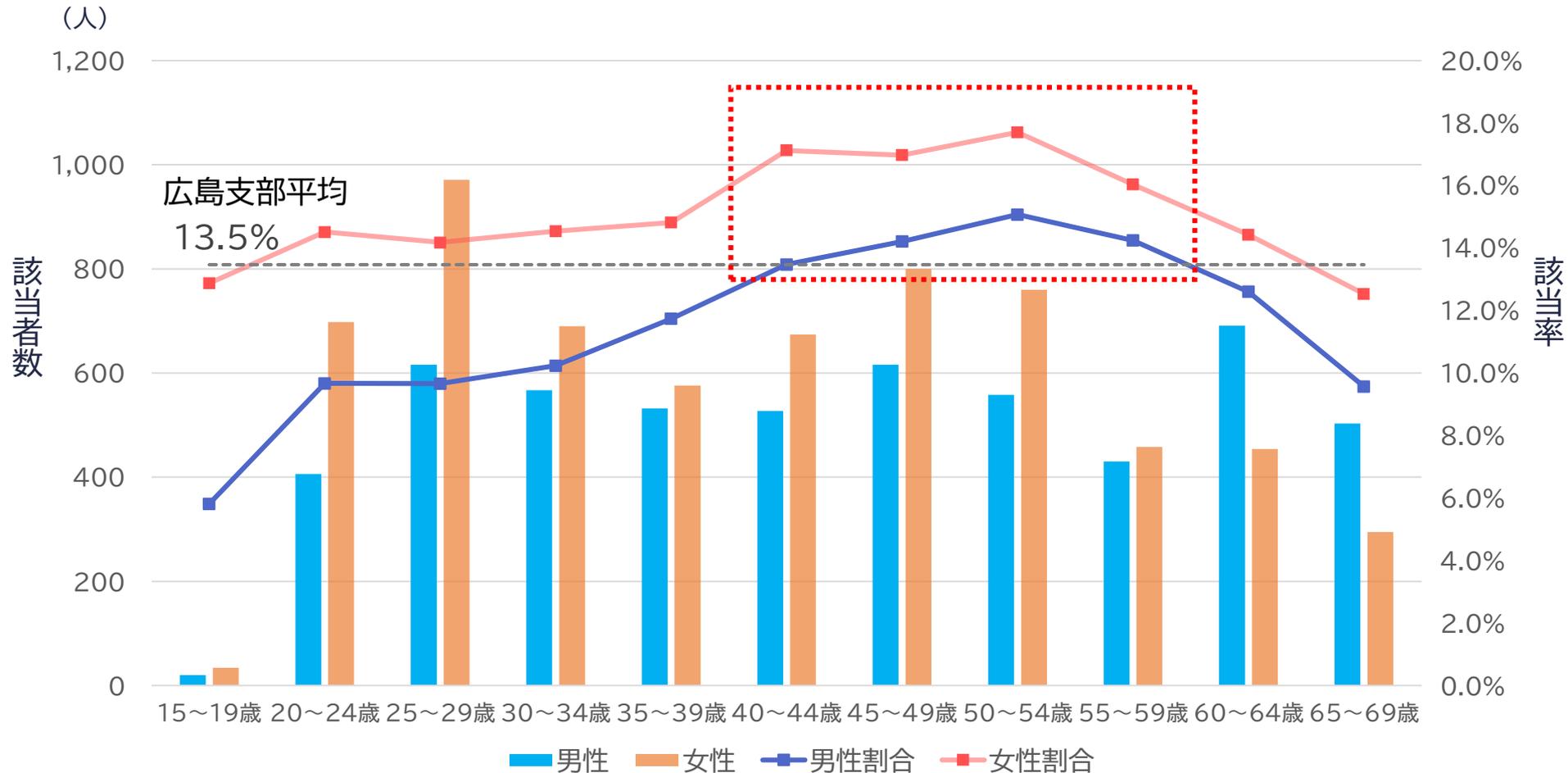


# ステージⅡ＋Ⅲ：メンタル系疾患（性別・年齢階層別）

- 2021年度被保険者（年度末時点で現存者：650,727人）のうち、7.7%の方が、（50,487人、約13人に1人）がメンタル系疾患で医療機関に受診。
- 女性の割合が高く、男女とも年齢階層が上がるにつれて、該当者の割合が徐々に増加。

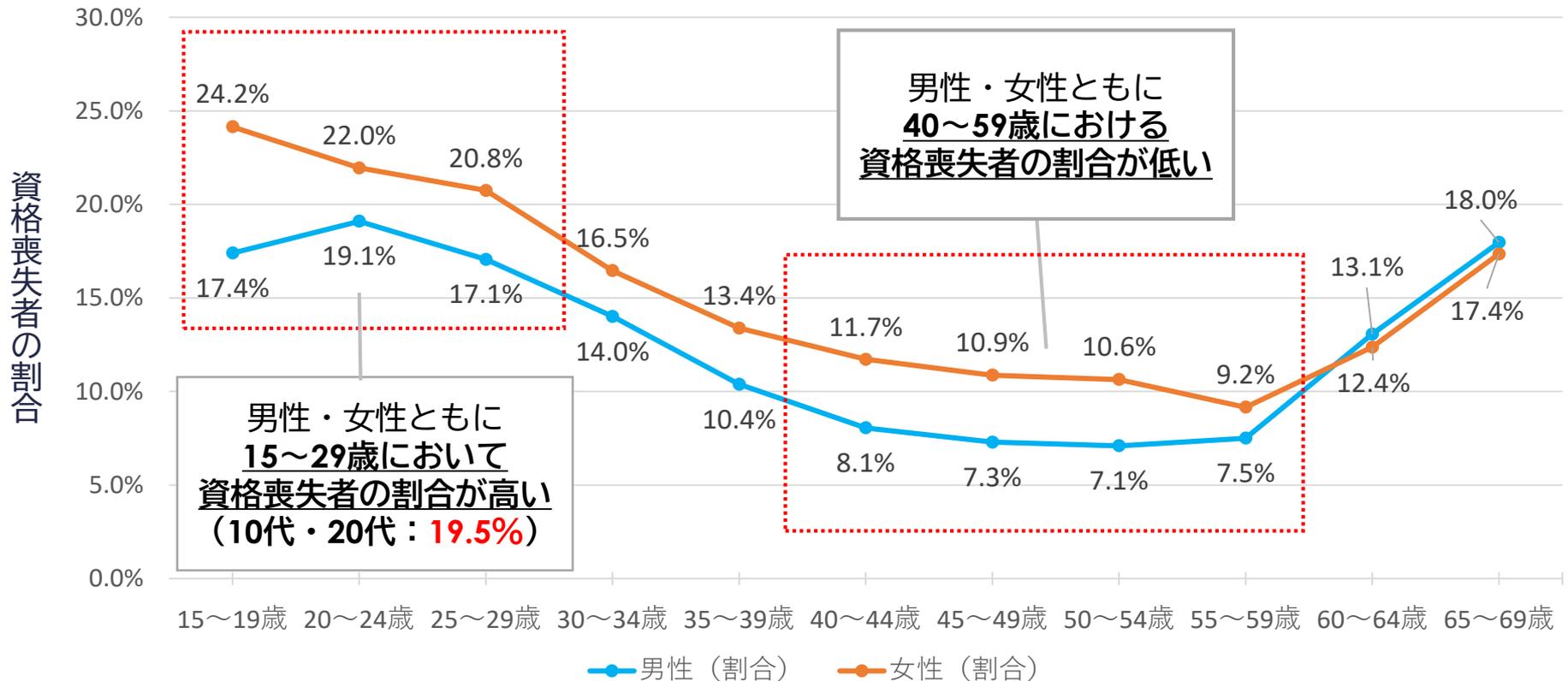


- 2021年度中に資格喪失された94,401人のうち、メンタル系疾患の人は12,713人（13.5%）。
- 女性の割合が男性と比較して高い。男性・女性ともに**40～59歳**の割合が高い。
- 資格喪失者のうちメンタル系疾患を抱えている人は、年代問わず存在する。



# 健康保険を資格喪失された方（退職等）の割合

- 2021年度中に退職等の事由により、健康保険を資格喪失された方のグラフ
- 40～59歳は資格喪失者の割合が低い年代であるが、先ほどのグラフのとおり、従業員の退職を防ぐためのメンタルヘルス対策が重要。
- また、男性・女性ともに15～29歳の割合が**19.5%**と高い（支部平均で12.7%）。



※資格喪失者の割合 (%) = 資格喪失者 ÷ (被保険者数 [年度末時点] + 資格喪失者) としています。

(協会けんぽ広島支部2021年度加入者データ)

# 健康経営認定別における集計・分析

## 健康経営の取組みによる効果

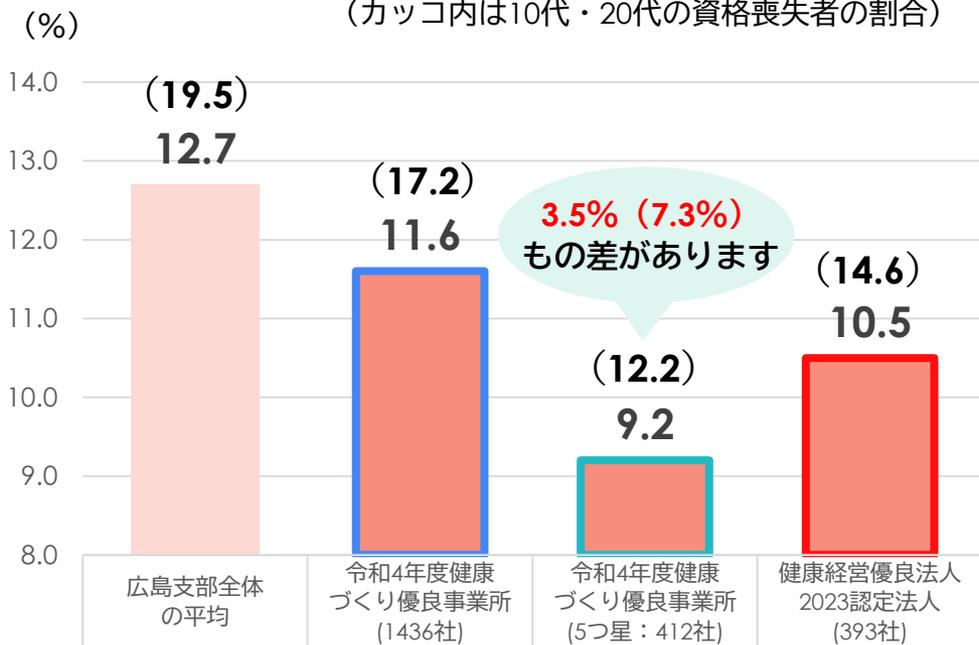
健康保険の資格喪失者（退職者等）の割合、被保険者のメンタル系疾患による医療機関受診者の割合について、「健康経営」に積極的に取り組む事業所が低い傾向がある（2021年度データ）。

### 【広島支部加入事業所における比較】

- 広島支部全体の平均
- 令和4年度健康づくり優良事業所（1,436社）
- 令和4年度健康づくり優良事業所（5つ星：412社）
- 健康経営優良法人2023認定法人（393社）

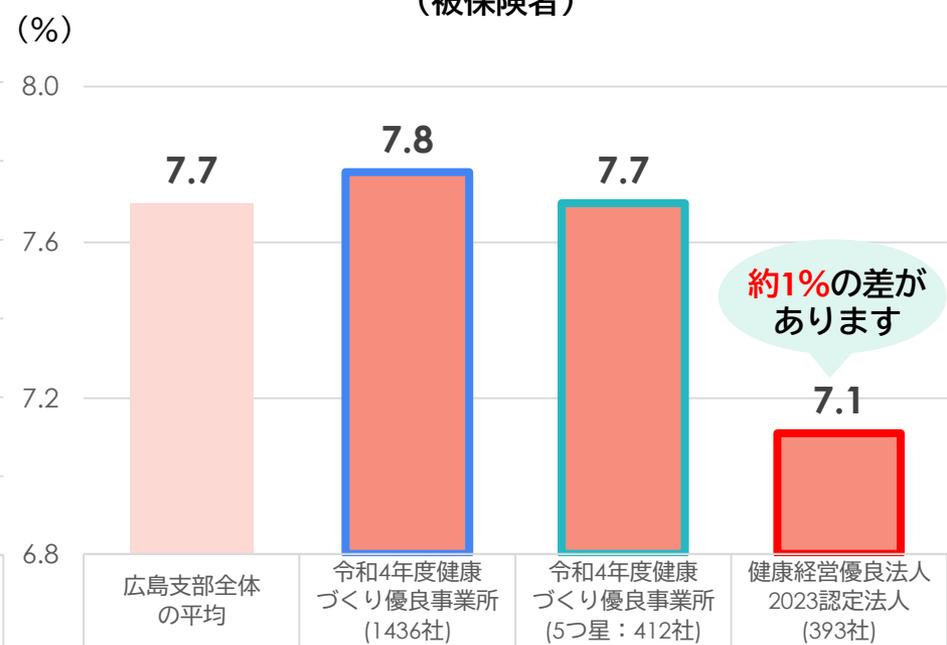
### 資格喪失者の割合

（カッコ内は10代・20代の資格喪失者の割合）



### メンタル系疾患での医療機関受診者の割合

（被保険者）



## 事業所へのアンケート結果から深掘分析

事業主・経営者層が健康経営に「積極的に関与している」と回答した事業所と比較。

- 「あまり関与していない」と回答した事業所では、退職リスクが約2倍。
- 「健康経営に取り組んでいない」と回答した事業所では、退職リスクが約2.8倍。

## 健康経営に対する経営層の関与と退職リスク

経営者層の関わり・支援の有無の回答結果	有意確率 (p値)	退職リスクのオッズ比 (倍)
積極的に関与している	---	<b>1.0</b>
ある程度は関与している	0.034	<b>1.9</b>
あまり関与していない	0.016	<b>2.0</b>
健康経営に取り組んでいない	0.007	<b>2.8</b>

※ 「退職者の割合」の分布から、退職者の割合が20%以上の事業所は割合が相対的に高いとみなし、これを指標として設定。「退職者の割合が20%以上かどうか」を目的変数、アンケートの各設問項目を説明変数として多変量のロジスティック回帰分析を行った。

## 被保険者の人数ベースによる集計・分析

- 睡眠を含む生活習慣の改善が必要な方
- メンタル系疾患の方      が多い年齢階層や業種等について把握できた。

個人及び事業所へのアプローチに向けて役立つ分析結果となった。

相手方	施策（2023年度実施）
個人への アプローチ	<ul style="list-style-type: none"><li>●睡眠を含む生活習慣の改善に向けたアドバイスリーフレットの送付（メンタル不調予備群20,000名）</li><li>●睡眠改善セミナーの開催</li></ul>
事業所への アプローチ	<ul style="list-style-type: none"><li>●分析結果を踏まえたメンタルヘルス対策リーフレットの提供（5名以上の事業所20,000社送付）</li><li>●ラインケアに関するメンタルヘルス対策セミナーの開催</li></ul>

## 健康経営の効果

健康経営の取組みと「メンタル系疾患による医療機関受診者」、  
「健康保険の資格喪失者（退職者等）」との関係から、  
健康経営が企業の人材確保・定着に有効である可能性も示唆された。

# ご清聴ありがとうございました



ひろしま企業健康宣言  
健康づくり優良事業所

